

【学年】 2年	【教科・単元名】 算数「かけ算」
<p>【実践内容】</p> <p>○ <u>ねらい</u> 乗法の意味について理解し、それをを用いることができるようにする。</p> <p>○ <u>学習内容</u></p> <p>① かけ算の意味と記号 ・「1つ分の数」「いくつ分」の関係の場合に乗法が用いられることを知り、乗法の意味について理解する。また、記号、式での表し方を理解する。</p> <p>② 倍の意味 ・「ばい」の意味を知り、ある量の何倍にあたる量を求める。</p> <p>③ 乗法九九 ・1位数と1位数との乗法の計算が確実にできるようにする。</p> <p>④ 乗法のきまり ・積の増え方や交換法則を理解する。</p> <p>○知的好奇心を高めるための手立て</p> <p>本単元の内容においては、すでに家庭で予習をし、「九九」の暗唱ができる子もいる。しかし、かけ算の意味についての理解は浅い。そこで、子どもたちの知的好奇心を大切にしながら「かけ算」の意味について理解していけよう、以下のような工夫をした。</p> <p>①導入の工夫 「お土産は何個入り？」</p> <p>全員が興味を持って考えられるよう考え、お土産のお菓子は何個入りか推理するという導入を行った。最初は「当てたい。」という思いで、「32個。2年1組は30人だから。」「20個。箱の大きさに…。」と当てずっぽうを言うが、少しずつ隠している部分を開けていくと、徐々に根拠を話したがる様子や、いろいろな方法で説明をしようとする姿が見られるようになった。まずは縦1列を見せた。縦に3つ並んでいるのを見て、「大きさにこれが4列分あるから、$3+3+3+3$で12個。」というように推測し始める。また、「上だけちょっと見せて。」「何列あるかが分かればわかる。」という声が出てきた。</p> <p>②一人ひとりの言葉、考えを大切に</p> <p>上を少しだけあげると、子どもたちは自信たっぷりにそれぞれの「推理」を話し出した。そこで子どもたちが語ったことを、できる限り板書していくようにした。また、「なんで?」「どういうこと?」と丁寧に根拠を問い返していくようにしていった。「全部同じ数ずつ並んでいる。」「1列に3こずつで、それが5列。」など、かけ算の学習でキーワードなる言葉や、「$3+3+3+3+3$」「$5+5+5$」という式や図など、多様な表現での説明が子どもから出てきた。最後に、教科書のまとめを確認し、自分たちの説明と繋げた。「自分たちで考えた」と思えるよう、さらに「もっと考えたい。」という知的好奇心につながるよう心がけた。子どもたちの疑問や気づきを大切にしていきたいと考え、導入だけでなく単元を通して、できるだけ子どもの言葉のまま、板書するようにした。</p> <p>③多様な考えが出る学習課題</p> <p>単元の中で、場面探しや問題作りなどの学習を多く取り入れた。教室の中だけでも、かけ算で表すことができる物はたくさんある。「こんなのも見つけた!」「もしかして…」と多様な子どもの気づきや発想が生かすことができるとともに、実生活へかけ算の見方を広げてほしいと考えたからだ。それぞれが考えた場面や問題は、コメントを入れて掲示したり、友だち同士で出し合ったりするようにした。「友だちに紹介したい。」「もっとたくさん考えたい。」という思いを大切に取上げられるよう、丁寧にいった。</p>	
<p>【反省】</p> <p>○<u>成果</u> ・ 子どもたちが知的好奇心を持ち、主体的に学習を進めていく上で、「問い」の設定がいかに重要かわかった。このような提示の仕方は、問題文を理解することが難しく感じている子にとって、学習内容について関心を持ち、かけ算の意味を理解していく上で有効だったと思う。「誰でも考えられる」「誰にもわからない」平等な問いであることは、どの教科においても大切であることを感じることができた。</p> <p>・ 学習を進めていく中で、「いろいろな考え方を考えよう。」という姿勢が育ってきた。</p> <p>○<u>課題</u> ・ 子どもの気づきを大切にしたいと考え、「どういうこと?」「どうして?」など丁寧に問い返すことを意識して取り組んだ。しかし、しつこくやりすぎてしまい、途中で子どもが飽きてしまった。引き際やメリハリをつけることが重要であることを学んだ。</p> <p>・ 乗法に関する性質やきまりについて考える場面では、多様な発見が出たものの、複雑で長い説明が多く、言葉と聴覚情報に偏ってしまった。そのため、理解しきれない子が見られた。「言いたい子」だけで進んでしまうのではなく、いろいろな子に活躍の場を作り、その子なりの達成感・満足感を持てるよう、個人解決の段階で個々の考えを見とり、教師が意図的に指名したり発言の順序をコントロールしたりすることも、今後心掛けていきたい。</p>	

